

開催内容（詳細）

I. 会場 愛知県国際展示場 Aichi Sky Expo Aホール（全体の2/5 約4,000㎡使用）

- ① 2021 伝統工芸ふれあい広場・愛知（仮称）
- ② 2021 全国くらしの伝統工芸展・愛知（仮称）
- ③ 第23回日本伝統工芸士会作品展

※①、②は間仕切りをしないオープンな構成とする。③は①、②との明確な間仕切りを作る。また、③は必要出入り口を1～2ヶ所程度設置し、ステージ音響の影響を避けること。

※※過去の実施の状況は大会 HP (<http://kougei-expo.com/>) を参照

II. 会場構成

①2021 伝統工芸ふれあい広場・愛知（Aichi Sky Expo Aホール 約2,500㎡を予定）

1. ・伝統的工芸品の製作体験指導／10 工芸品（予定、工芸品は調整中）

来場者が伝統的工芸品の製作を体験できるコーナー

小間の標準型は、1 工芸品あたり机 3 台と体験者用イス 6 脚及び講師用イス 2 脚及び商品を展示する台で構成します。紙漉きや機織りなどのように別の専用機材を活用する場合はこの限りではありませんが、本見積書の作成につきましては、記載項目に沿って算出してください。

給排水を利用する場合がありますので、シンクの設置（2ヶ所程度）を予め図面に記載してください。

・伝統的工芸品の製作実演／15 工芸品（予定、工芸品は調整中）

来場者に伝統的工芸品製作工程の一部を披露するコーナー

小間の標準形は、原則として畳敷き（高さ 50cm・畳 2 畳分）と机による展示台。ただし、工芸品によっては床（パンチカーペット敷き）養生のみで机等を使用しない場合もありますが、本見積書の作成につきましては、記載項目に沿って算出してください。

机タイプは、各小間につき商品展示する台、机 1 台と実演者及び助手用イス計 2 脚で成します。

実演者と見学者の「密」をさけるため、作業中の手元をモニターに投影することを検討しています。

2. 特別展示コーナー／1 ブースを予定

イ)「繭から生糸まで」 蚕の繭から生糸ができるまでの工程を展示紹介。

ロ)「漆ができるまで」 漆の樹液採取から漆が出来上がるまでの工程等を展示紹介

- *いずれも説明用モニター・DVD プレーヤー（設置台）、説明パネル（B2 サイズ 3 枚）。
- *展示小間の設営案等をご提案下さい。標準形の小間サイズは見積書様式に記載してあります。

3. 三井ゴールデン匠賞展示

表示用のパネルを作成してください。（展示備品等は不要）

4. 都府県 PR / 伝統的工芸品 PR コーナー

イ) 都府県 PR コーナー（別紙参照：ポスター、パネル等で都府県観光情報等を紹介）

- ・ 35 都府県を予定。
- ・パンフレットを用意しますので、設置台なども含めご提案ください。

ロ) 伝統的工芸品紹介コーナー

- ・国指定の伝統的工芸品 236 品目を写真パネル等で紹介
- ・サイズ・仕様は掲示場所に応じて自由ですので、ご提案ください。
- ・素材となる工芸品写真原稿等は提供します。

ハ) 次年度開催地紹介コーナー

5. 伝統工芸ステージ（約 130 m²を使用）

・伝統工芸に関する特設ステージとして来場者が楽しめる様々なイベントを実施します。ステージ関係の設営・運営関係は原則として地元愛知県が行いますので、当協会の実施するイベント内容についてご提案があればお願いします。

現状は、邦楽器演奏を予定しています。その他のイベント企画があれば、7.特別提案にてご提案ください。

- ・ステージは愛知県も使用しますので、スケジュール配分について愛知県と調整していただきます。常にイベントを実施するものではなく、ステージイベントを実施しない場合は、伝統的工芸品等の製作工程の映像を放映するためのステージ上にモニターを設置し、PC等による映像投影や伝統的工芸品等の製造工程等を紹介する映像の放映が可能とすること（映像は当協会から提供します）。

6. サイン関係等

会場内催事タイトル看板 開催趣旨、主催者、後援名など掲載。

※外国語（英語、簡体字、繁体字）表記を行うこと（工芸品名等のタイトルのみ）

7. その他 特別提案について

開催会場の特性等を活かし、以下の目的を参考に特別提案を提示してください。

- ・全国各地から様々な工芸品が集結する本催事の特徴を活かした取り組みを展開し、将来に向けた新たなチャンスを生み出していくことを目指す。
- ・大会終了後も産地活性の取組みが継続することを目指す。
- ・大会を契機に業種や分野を超えて新たな交流が生まれることを目指す。
- ・来場者にとっては、伝統的工芸品をより好きになっていただき、これを機に自身の生活に取り入れてみようと思っただけの契機となるようなイベントとする（生活に工芸品を上手く取り入れたシーンを演出した空間の提案を歓迎。スタイリストの起用も視野に入れる。）。
- ・コロナ禍の状況を鑑み、会場の様子をインターネットで配信するなど、リモートでイベントを楽しめる企画を歓迎する。

※特別提案については、すべてまたは一部を実施しない場合があります。

②全国くらしの工芸展（約 900 m²を予定）展示・販売コーナー

（60 工芸品 80 小間を予定）

伝統的工芸品を業種・品目別に展示し、販売します。レジは必要ありません。

- 1 小間の大きさ=W1800×D900×H0~750（高さは工芸品により変更）
- 展示台の高さは、企画のなかで自由に変更して構いません。
- 展示台天板の仕様も記載してください。
- 展示台高さが 750 mm のタイプは原則として対面販売とし、展示台内側に販売員用スペース 900 mm 程度を確保。別の小間と後ろ合わせになる場合は間仕切りを設置してください。また、高さ 250 mm 以下の展示台は、原則としてバックパネル付としてください。
- 高さ 750 mm タイプの展示台の下は空洞として在庫品等収納可能としてください。その場合、目隠しに必要な備品は追加してください。
- ご自宅で工芸品の製作体験を楽しめる「製作体験キット」の販売コーナーを設置予定です。

上記展示台作成は、次の作品展も同様にお考えください。

③第 23 回日本伝統工芸士会作品展（約 600 m²を使用）

イ) 作品展示コーナー（220 点の出品を予定）

経済産業大臣指定伝統的工芸品の優秀な技術者（職人）である伝統工芸士が精魂込めて製作した新作を展示し、併せてコンクールを実施します。なお、コンクール

審査に関する企画提案の必要はありません。

- ・原則として展示台の下は空洞として在庫品等収納可能としてください。その場合の目隠しに必要な備品は追加してください。
- ・空き箱、梱包材等を収納する倉庫を2～3ヶ所設置してください。

※①②については、新たな名称を併せてご提案ください。

※全会場共通事項として、通路幅を広くとる、各ブース内のスペースにゆとりをもたせる、出展者と来場者の距離を確保する等、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底した提案としてください。

※いただいたご提案については、すべてまたは一部を実施しない場合があります。

III. 運営補助業務（補助人員 40名）

①2021 伝統工芸ふれあい広場・愛知担当

- ・体験の準備、参加希望者の受付（体験参加費の受け取り、参加人数の記録など）
- ・体験コーナー内の整備
- ・体験出展者毎に1名、実演2出展者毎に1名を想定（15名）

② 全国くらしの工芸展担当（展示品の監視及び販売補助） ※販売は出展者が行う。

- ・自分の持場を常に巡回し、盗難がないか購入希望のお客様がいないか注意を払うこと。
- ・出展者（産地から出張してきている担当者）の補助。
- ・全体想定人数（10名）

③ 受付及び場内誘導・ふれあい広場・くらしのアテンド控室等担当

- ・来場者への総合案内（質問への対応、パンフレット手渡し等）、場内放送
- ・来場者アンケートの対応
- ・ふれあい広場・くらしの工芸展のお弁当配布（休憩室にてお弁当引き換え）
- ・想定人数7名

④ 繭から生糸まで・漆ができるまで・都府県紹介コーナー等

- ・繭から生糸まで・漆ができるまで のアテンドの方が、休憩中に展示品の管理。
- ・都府県紹介コーナーのパンフレットの補充
- ・その他展示・ステージに関する管理・案内
- ・想定人数5名

IV. 入 場 料 無料（来場者数想定 3日間 延べ10万人）

V. 設営・撤去等 設 営 日：11月25日（木） 8：00～21：00

展示陳列：11月26日（金） 9：00～17：00（出展者が行う）

搬 出 日：11月29日（月） 16：00～18：00（出展者が行う）

撤 去 日：11月29日（月） 16：00～23：00（搬出優先）